

# ソフトボール神奈川

No. 89

令和 5 (2023)年 3月7日発行

<https://www.kanagawaken-softballkyoukai.com/>

神奈川県ソフトボール協会  
広報委員会

〒242-0001

神奈川県大和市下鶴間 1774

高下コーポ 102

Tel・Fax: 046(272)6600

## 笑顔の溢れる一年に

神奈川県ソフトボール協会  
理事長 鈴木利夫



一年間、県協会事業運営にご理解ご協力賜り深く感謝申し上げます。理事長就任一年目を関係スタッフの皆様方のご支援のもと諸事業がほぼ終了しましたことに大変心強く感じています。

今年度、新しい普及活動としての取組が行われ、昨年12月には川崎市立西野川小で元全日本監督宇津木妙子さんを講師にASOBALL(あそボール)の出前授業が行われ、生徒、先生をモデルにベースボール型運動競技の魅力と楽しさを120%満喫していました。他にも小学校訪問として、茅ヶ崎市:浜須賀小学校・梅田小学校・東海岸小学校・秦野市:末広小学校などで日立サンディーバ・厚木SCの選手たちを講師に白球を追い、楽しい時間を過ごしていました。3月末には、小学生、中学生、高校生選抜大会が予定されています。出場されるチームの選手・スタッフの皆さんには、感染防止対策を徹底しコンデショニングには万全の態勢で臨んでいただき一日でも長く全国の舞台を楽しんで欲しいと願っています。

令和5年度、今年で二年目を迎えるJD.LEAGUE(ジャパンダイヤモンドリーグ)は第2節を4月22日・23日に中栄信金スタジアム秦野(秦野市カルチャーパーク野球場)、第9節を6月17日・18日にサーティーフォー相模原球場、第12節を10月14日・15日にサーティーフォー保土ヶ谷球場で開催が予定され、更にプレーオフを11月11日・12日に川崎市等々力球場で予定されています。ホームチーム日立サンディーバの活躍に熱い応援をお願いいたします。そして日本女子リーグ第2節が5月19日～21日に厚木市菅及川球技場で開催が予定され、花王コスメ小田原フェニックス・厚木SCの熱い戦いが予想されます。また、三年前の新型コロナウイルス感染拡大のために延期となった鹿児島国体が第78回特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」として10月7日から開催されます。4種別の本大会での活躍を期待しましょう。そして、今年も日米対抗戦が昨年同様第3戦を8月7日横浜スタジアムでの開催が予定されています。トップレベルの試合を観戦出来ることに感謝しつつSOFT JAPANをソフトボールファンとして応援しましょう。

今年度の大会も3月19日の全日本クラブ選手権大会関東地区予選会県予選をかわきりに順次予選会の開催が予定されています。各チーム大会に向け準備を進めソフトボールを通して楽しく笑顔の溢れる一年になって欲しいと願っています。令和5年度も感染防止対策の徹底を図り、全ての事業が皆様方のご支援、ご協力のもと滞りなく迎えられるよう「チーム神奈川」で乗り切ってゆきましょう。

## 少年男子チーム23年ぶり全国制覇！

＝第77回国民体育大会ソフトボール競技＝

関東ブロック第一代表として国体本大会(10/8～10)に出場した神奈川県少年男子チームは、静岡県を2対0、準決勝で福岡県を3対1で破り決勝に進出。福井県との決勝で1対0の接戦をものにして、みごと23年ぶりに頂点に立った。

監督 中嶋 正

第77回国民体育大会ソフトボール競技少年男子の部において、23年ぶり2回目の優勝を飾ることができました。少年男子の西高東低が続く中での優勝は、県協会をはじめとする高体連男子に携わる皆様のご理解ご協力の賜物だと深く感謝しております。神奈川県は、決勝までの3試合を1失点と抑え込み、高橋投手、野澤捕手のバッテリーを中心に選手、帯同マネージャー、スタッフ全員で勝ち取った23年分の思いの詰まった優勝となりました。



## 第3回関東総合男女ソフトボール大会 (9/25)

### 男子の部優勝:厚木クラブ

監督 河合陽之介

この度は、第3回関東総合大会におきまして、厚木クラブが優勝(同時優勝の千葉県代表四街道クラブ様含む)出来ましたことは、ひとえに皆様のご協力があったの賜物と心よりお礼申し上げます。この大会は、コロナの影響もあり、第3回大会(第1回、第2回大会中止)となり、初優勝チームとして厚木クラブが結果を残すことが出来ました。この素晴らしい結果に恥じないよう、神奈川県代表の常勝チームを目指し、日々努力してまいります。



### 女子の部優勝:厚木SC

同じく女子の部では、厚木SCが優勝し、神奈川県チームで男女アベック優勝というすばらしい結果を残しました。

両チームともおめでとうございます。

## 《 結果 一 覧 》

### 【令和4年度10月以降】

※「ソフトボール神奈川」88号掲載以降のもの

#### 【全国大会】

- ・第36回全日本シニアソフトボール大会  
(10月1日～3日、宮崎県宮崎市) [48チーム]  
大和ファルコン(3回戦)
- ・第77回国民体育大会ソフトボール競技  
(10月8日～10日、栃木県足利市、大田原市)  
少年男子:神奈川県(優勝、23年ぶり) [13チーム]  
成年女子:神奈川県(準優勝) [13チーム]
- ・第21回全日本エルデストソフトボール大会  
(10月15日～17日、石川県輪島市) [40チーム]  
横浜マリニズ(3回戦)  
シーファイブ
- ・ねんりんピックかながわ2022ソフトボール交流大会  
(11月13日～15日、神奈川県小田原市) [68チーム]  
〔県代表〕(神奈川A)クラブ小田原  
〔 〃 〕(神奈川B)大和ファルコン  
〔政令指定都市代表〕(横浜A)横浜マイティーズ(ベスト16)  
〔 〃 〕(横浜B)オール弥生台  
〔 〃 〕(川崎A)川崎シニアソフトクラブ  
〔 〃 〕(川崎B)生田グランドジェネレーション  
〔 〃 〕(相模原A)大野台クラブ  
〔 〃 〕(相模原B)相模原タートルシニア(3回戦)

#### 【関東大会】

- ・第40回関東レディースソフトボール大会  
(10月1日・2日、栃木県宇都宮市) [16チーム]  
ウインズ(ベスト4)  
PANTHER(2回戦)
- ・第31回関東エルダースソフトボール大会  
(10月15日・16日、神奈川県平塚市) [8チーム]  
高津STARS(準優勝)  
SBC  
久里浜シャークス
- ・第26回関東エルデストソフトボール大会  
(10月15日・16日、神奈川県小田原市) [8チーム]  
湘南なでしこ
- ・第27回関東シニアソフトボール大会  
(10月15日・16日、埼玉県熊谷市) [16チーム]  
大和ファルコン(ベスト4)  
シニア厚木クラブ(ベスト4)
- ・第53回関東大学ソフトボール選手権大会  
(10月22日～24日、茨城県石岡市ほか)  
男子の部:東海大学(ベスト4) [23チーム]  
女子の部:東海大学 [20チーム]
- ・第23回関東ママさんソフトボール親善大会2022  
(11月5日、神奈川県海老名市) [3チーム]  
ライナーズ(優勝)  
PIECE(準優勝)



(ライナーズ)

- ・第21回すこやかハイエルデストソフトボール親善神奈川大会  
(11月5日・6日、神奈川県海老名市) [10チーム]  
やまゆり



## 【県大会】

※種別順、優勝チームのみ掲載

### 【男子】

- ・第20回神奈川県秋季クラブ普及ソフトボール大会  
(9月25日～10月9日、秦野市ほか) [37チーム]  
横須賀HOMIES



(決勝を戦った両チームがそろって写真に)

- ・第24回神奈川県秋季実年ソフトボール大会  
(10月2日、大和市) [4チーム]  
SBC神奈川・小田原
- ・第12回神奈川県秋季男子オープンソフトボール大会  
(10月23日・30日、厚木市ほか) [6チーム]  
花王コスメ小田原
- ・第25回神奈川県秋季壮年ソフトボール大会  
(10月30日・11月6日、綾瀬市ほか) [9チーム]  
SBC神奈川・小田原
- ・かながわシニアスポーツフェスタ2022  
(11月20日・12月18日、厚木市) [9チーム]  
大和ファルコン

### 【女子】

- ・第12回神奈川県秋季女子オープンソフトボール大会  
(9月25日、藤沢市) [4チーム]  
東海大学

### 【シニア連盟】

- ・第60回神奈川県シニアソフトボール連盟秋季大会  
[シニア1部] (10月16日～12月7日、愛甲郡ほか)  
横浜マイティーズ [16チーム]
- [シニア2部] (10月1日～12月17日、横浜市ほか)  
横須賀 [19チーム]
- [ハイシニア] (10月1日～11月29日、横浜市ほか)  
横浜マイティーズ [17チーム]
- [スーパーシニア] (10月20日～11月1日、横浜市)  
横浜マイティーズ [15チーム]
- [ゴールドシニア] (9月30日～10月18日、横浜市)  
ゴールド泉マックス [10チーム]

### 【家庭婦人連盟】

- ・第23回ダイヤモンド大会  
(9月18日、平塚市) [6チーム]  
※雨天のため中止
- ・令和4年度家庭婦人連盟秋季大会  
(10月9日・23日、横須賀市ほか) [23チーム]  
茅ヶ崎ファミリーズ
- ・家庭婦人連盟エルダー大会  
(11月23日、厚木市) [16チーム]  
※雨天のため中止
- ・第15回レディース秋季大会  
(12月4日、小田原市) [10チーム]  
Swallows

### 【高等学校】

- ・令和4年度神奈川県高等学校秋季新人ソフトボール大会  
兼 第41回全国高等学校ソフトボール選抜大会神奈川県予選会  
[男子] (10月30日・11月3日、小田原市ほか)  
光明学園相模原高等学校 [9チーム]
- [女子] (10月30日～11月5日、小田原市ほか)  
光明学園相模原高等学校 [27チーム]

### 【中学校】

- ・令和4年度神奈川県中学校男子・女子新人ソフトボール大会  
(11月19日～23日、相模原市) [33チーム]  
大和市立つきみ野中学校



## ニトリJD.LEAGUE第15(最終)節横浜ラウンド開催 ＝山田恵理選手、惜しまれつつ現役引退＝

ニトリJD.LEAGUE2022、その第15節「横浜ラウンド」が10月22日(土)・23日(日)、横浜市「サーティーフォー保土ヶ谷球場」にて行われた。第14節まで通算19勝と快進撃を続ける地元日立サンディーバが出場するとあって、快晴の下、スタンドは朝早くからほぼ満員の観客で埋め尽くされた。

決勝トーナメント戦に向けて弾みをつけたい日立サンディーバは、第1日NECプラットフォームズレッドファルコンズと対戦、初回の先頭打者坂本結愛選手の第15号ホームラン(このホームランで坂本選手は「2022年度東地区最多本塁打賞」を獲得)で先制、その後、ハンナ・フリッペン選手のホームランも飛び出した。守っては先発の坂本実桜(勝利投手)、テイラー・マクイリン両投手の継投で逃げ切り、2対1で勝利した。

続く第2日は太陽誘電ソルフィーユと対戦、2回に先制を許すも、ハンナ・フリッペン選手の2試合連続ホームランや鈴木鮎美選手の2塁打などで6点をとった。その大量得点を



(坂本、フリッペン両選手)



(坂本実桜投手)

テイラー、田内、佐藤、長谷川、坂本(2試合連続勝利投手)の投手リレーで切り切り6対1と快勝、最終成績を21勝8敗で予選リーグを終えた。その後東地区第2位でプレーオフを経て決勝トーナメント(ダイヤモンドシリーズ)へ進出するも、セミアイナルで東地区第1位のビックカメラ高崎に1点差で惜敗、ファイナルへの進出は叶わなかった。

2日間全4試合の結果は神奈川県ソフトボール協会ホームページを参照されたい。

なお、坂本(結)選手(最多本塁打賞、ベストナイン賞)のほか、杉浦選手(最多盗塁賞)、森山選手(ベストナイン賞)、佐藤真咲投手(投手部門新人賞)の4人が個人賞に輝き、一年間の活躍が評価された。



(有終の美を飾った日立サンディーバ)

また、第2日には、今シーズン限りで引退するデーソープライトペガサス所属で、元日立の山田恵理選手の引退セレモニーが行われた。藤沢市出身の山田選手は、県立厚木商業高校ソフトボール部や日立で大活躍、全日本チームでもキャプテンとして北京オリンピックから東京オリンピックと連続金メダル獲得の立役者になった。

セレモニーでは厚木商業高校時代の恩師である利根川勇氏(現光学学園相模原高校女子ソフトボール部監督)や山田家の家族の方々、神奈川県ソフトボール協会、日立時代のチームメイトなどからた

くさんの花束や記念品の贈呈があり、山田選手のスピーチに会場を埋め尽くした観客から惜しみない拍手が送られていた。終了後も現厚木商業高校ソフトボールチームや会場に居合わせた他チームなどと一緒に集合写真に収まるなど、心温まるひとときがいつまでも続き別れを惜しんでいた。



(”感動をありがとう”山田恵理選手)

## 3年ぶりの『ねりんピックかながわ2022 ソフトボール交流大会』

＝神奈川県内より8チームが出場＝

3年ぶりの開催となったシニアの全国大会「ねりんピックかながわ2022 ソフトボール交流大会」が、11月13日(日)～15日(火)、小田原市酒匂川スポーツ広場、県立西湘スポーツセンターを会場に68チームの参加により行われた。試合に先立ち12日(土)に行われた「ソフトボール開始式」では、横浜マイティーズの川村猛選手が特別賞(高齢者賞)を受賞、クラブ小田原の岡部富二主将が選手宣誓を行った。

神奈川県代表としてクラブ小田原(小田原市)、大和ファルコン(大和市)、政令指定都市代表として横浜マイティーズ(横浜市)、オール弥生台(横浜市)、川崎シニアソフトクラブ(川崎市)、生田クランドジェネレーション(川崎市)、大野台クラブ(相模原市)、相模原タートルシニア(相模原市)の8チームが出場し、強豪チームと対戦した。

全国から勝ち上がってきたチームとの戦いであって、県内チームは善戦及ばず惜敗したが、横浜マイティーズがベスト16に入る健闘を見せた。トーナメント戦終了後には交流戦も行われ、勝敗を抜きにして普段はなかなか対戦できない他県のチームと交流を深め、お互いにお土産を交換し合ったり、一緒に写真に収まったり、再会を誓い合う風景が随所に見られた。

また、この大会では小田原市や小田原市協会スタッフのご尽力もさることながら、県内より集まった多数の審判員、記録員、放送員や会場員が大会を成功に導いた。



(小田原アリーナでのソフトボール・テニス合同開始式)



(岡部富二主将(右)による選手宣誓)



(大会を支えたスタッフのみなさん)



(地元小中学生作製の  
歓迎・応援幟が雰囲気を  
盛り上げた会場)





## 受賞おめでとうございます！

今年度、文部科学大臣からの「スポーツ功労者(個人)」として清田一正副会長が、同じく「スポーツ功労者(団体)」として秦野市ソフトボール協会が、表彰されました。また、神奈川県より「優秀選手表彰(全国大会優勝団体)」として県立厚木商業高等学校ソフトボール部と、国体ソフトボール競技神奈川県少年男子チームの2チームが表彰され、1月14日の県協会新年会にてご披露されました。おめでとうございます。今後のさらなるご活躍をお祈りします。



表彰状と副賞の銀杯



秦野市協会山口金光会長と  
県協会清田一正副会長



受賞を披露する鈴木利夫理事長

## 新任役員のおいさつ(続)

※先の88号で掲載できなかった新役員のご挨拶です

### 理事 川原秀子

ご挨拶申し上げます。今年度から県協会の理事を拝命いたしました、横浜支部副会長の川原秀子です。ソフトボールが大好きで、選手→審判員・記録員→スポーツ指導者(コーチ2) 遂に役員へ。今は良い環境ですが、うん十年前、女性だからこそその苦しい事もありました。大好きなソフトボール ♥ 年齢的に、後少し楽しむ為、邪魔にならないよう頑張ります。選手・全関係者の方々、応援よろしくお祈りします。

## 令和4年度 神奈川県審判員・記録員伝達講習会開かれる

2月26日(日)、綾瀬市立寺尾小学校、アヤセスポーツセンターにて、「令和4年度 神奈川県審判員・記録員伝達講習会」が開催された。県内より公認審判員55名、公式記録員23名が参加し、まず全体会では2023年度日本ソフトボール協会ルールの改正点や競技者必携の変更事項などの説明がされた。次に審判員と記録員で2会場に別れ、審判員は実技形式で試合前打ち合わせの重要性の徹底、球審の球種判定と基本動作、4つの塁での実践的な動きの再確認を念入りに行った。また記録員は、今回のルール改正に伴う記帳の仕方の学習と記帳方法の再確認を行った。これらの確認事項を、3月以降各支部や連盟でもれなく伝達し、末端まで周知徹底をはかり、2023年度の競技が開始されることになる。

(全体会)



(審判員研修)



(記録員研修)



## 支部・連盟・委員会トピックス

### 公認審判員・公式記録員の仲間が増えました。

みなさん、いっしょにがんばっていきましょう。(順不同・敬称略)

【第3種公認審判員合格者】 12月4日(日)横浜市にて

〔横浜〕春成涼平、伊藤郁哉、山下義明、蔵本辰也、田中豊人、李木朋晴、糸村竹史、杉浦金男、和久井幸紀、鈴木 孝、内村利彦、中西 洋、小野謙一、小林正雄、内藤和彦、伊倉和寛、東穂嘉洋、佐藤博孝、渡辺康治、

山上 操、佐藤浩司、松本信男、八田義治、伝井 久、小林賢一郎、〔鎌倉〕菊池英行、〔大和〕鈴木 剛、大橋達也、山藤 智、〔小田原〕上田元気、〔川崎〕三浦大成、鈴木泰介、岩田真治、城田伸也

【第3種公認審判員合格者】 1月15日(日)横須賀市にて  
〔横須賀〕藪 知春、笹原伸介、龍崎恵理子、並木真二郎、三浦裕也、佐々木伸治、石井律子、竹内義和、〔鎌倉〕高橋邦明、岩崎郁也、蔵並亮士

【第3種公認審判員合格者】 1月22日(日)厚木市にて  
〔厚木〕石井裕大、近藤篤史、仁井田義尋、石川知宏、清水輝頭、原 勇、井上雄一郎、鈴木安延、萩原哲也、岩崎明人、高久 隼、平井賢太郎、遠藤俊哉、高澤友康、福岡典秋、遠藤世也、田邊清史、藤井寛太郎、大沢博道、都高 靖、安田武矢、加藤直樹、富田圭亮、清田 敬、長明義人、〔茅ヶ崎〕小栗靖子、菅田佳弘、水本尚志

【第3種公認審判員合格者】 1月29日(日)綾瀬市にて  
〔綾瀬〕岸田順幸、初澤希望、〔大和〕佐藤通子、橋爪圭太、〔相模原〕近藤美月、広瀬昌三、高杉修治、松下利男、白倉健二、普天間 靖、〔海老名〕千頭和健太、小林洋介、〔座間〕築地原優二、早川達夫、〔愛甲〕尾崎典男、〔茅ヶ崎〕河村智之、阿部慎太郎、〔鎌倉〕鈴木政彦、〔寒川〕豊岡智洋、丸山隆太、〔南足柄〕柏木伸夫

【第2種公式記録員合格者】 12月3日(日)大和市にて  
〔横浜〕岩瀬鎮男、小澤美紀、村山明美、猪熊雄志、齋藤由美、〔藤沢〕関 亜紀子、〔厚木〕藤吉二三夫

【第3種公式記録員合格者】 12月3日(日)大和市にて  
〔横浜〕辻 勉、名西美珠希、武田和弘、板井健治、篠崎奈緒美、佐藤広明、岩瀬秀美、関 善一郎、遠藤弓子、服部洋代、〔藤沢〕安岡 仁、伊東璃咲、〔川崎〕村里知哉、草野尚樹、石渡直樹、小島豊大、近藤俊一、岡部 慎、〔鎌倉〕白浜一夫、〔小田原〕湯浅美砂、〔南足柄〕高橋幸恵、〔大学連盟〕五十嵐小雪、五十嵐詩織、吉沼瑠夏

## 2022年度 県協会主催ソフトボール教室が行われました

技術委員長 齋藤 清美



11月27日横須賀会場を皮切りに、12月4日座間会場、12月11日横浜会場、12月17日茅ヶ崎会場での年4回のソフトボール教室が開催されました。今まで新型コロナウイルス感染症の影響で開催ができない状況から、3年ぶりの開催となりました。4回とも全てが天候に恵まれ、高校生以下180名・一般118名、総合計数298名の参加があり、どの会場も和やかで、充実した教室となりました。講師には、日立サンディーバの鈴木由香様はじめ、OGの倉本様・小菌様、現役選手の方々と濱田様を中心に県協会講師の皆さんが指導に当たられました。

今年度のソフトボール教室は、基本動作はもちろんのこと、ピッチングとバッティングをメインに講習が行われました。そして受講生のアンケートでは、ほとんどの受講生の方々が、「満足」という回答を頂くことができました。次年度もみなさんからいただいたアンケートを元に、より良いソフトボール教室になるよう努力してまいります。各会場をお貸しくださった協会のみなさま、ありがとうございました。



## トップアスリートによる小学校訪問を実施

普及委員長 久保寺 千広



(T台を使つての打撃練習)

1月24日(火)鎌倉市立今泉小学校、講師は日立サンディーバの清原、長谷川、堀口選手にお願いした。2月3日(金)は伊勢原市立大田小学校、講師は厚木SCの薦田、小森、小山選手にお願いした。長谷川投手のいろんな球種の投球に、みんな目を丸くして感激していた。清原選手からはオリンピックの金メダルを触らせていただいた。厚木SCには最後の質問が止まらなかった。本物とのふれあいは、児童の心の片隅に記憶されたことだろう。



(長谷川投手の投球に歓声)



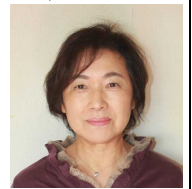
(本物の金メダルに大興奮の児童たち)



## 放送委員会が発足しました

放送委員長 山田よし子

今年度より発足しました、家庭婦人連盟所属で放送委員長の山田でございます。活動としては神奈川県ソフトボール協会主管の関東大会、ねんりんピックかながわ2022の放送(ウグイス嬢)をしました。放送委員の人数はまだまだ少なく皆さまにご支援とご協力をいただけますようお願いいたします。この場をお借りして放送活動募集をさせていただきます。経験、年齢を問わず興味のある方はお気軽にお声をおかけください。一緒に楽しみましょう。



## シニア連盟、創立30周年を祝う

県シニア連盟理事長 丸山 孝祐

「シニア連盟創立30周年記念祝賀会」は昨年12月10日16時、ロイヤルホール横浜にて、シニア連盟廣瀬会長のあいさつにより開始、県ソ協鈴木理事長を始め役員、関係各支部ソ協理事長、審判部長、各連盟チーム代表者のご出席により、コロナ禍の中、出席人数を縮小し総勢73名にて行われました。特筆すべきは30年間連盟の土台を支えた6名の功労者表彰でした。此処にその氏名を敬称略にて掲載致します。〔海老名市ソ協〕栗山明郎、〔川崎市ソ協〕鈴木脩夫、〔横浜市泉区ソ協〕茂木久、〔横浜市旭区ソ協〕峰松三四男、〔相模原市ソ協〕原田信子、〔連盟〕竹田栄、以上の方々でした。



(廣瀬会長のあいさつ)



(功労者表彰受賞の方々)



(会場のようす)

### 横浜市ソフトボール協会

理事長 庄司 勉

新年を迎えると毎年、審判員・記録員の登録更新が行われ、人数減少が気になる場所である。例年40名程度の減少で推移していたが、今年は6名の減少であった。高齢化と共に自然減少は避けられないが、若い人の増員を積極的に進めていく必要がある。そのためには、審判員・記録員をやることで多くの仲間と一緒に楽しめることを実践してゆきたい。横浜協会は本年418名の審判員・記録員の仲間と協力して取り組んでまいります。

<左下より>

主催の大会を遂行しています。今年は登録料が上がり古参の審判員が要録しないという現実に伴い、新しい若い審判員を登録してもらうように目下、鋭意工夫して参加を促しています。それと高齢化に伴い協会自体の年齢層が上がりスポーツを行う団体とは思えない状態なので、「若返り」をモットーに今知恵を絞っております。

### 横須賀ソフトボール協会

副会長 清田 一正

選手役員等のご尽力により無事春、秋の大会を終了する事が出来ました。県の事業は、ミズノカップ大会の一部を開催しました。支部対抗では、2回目の優勝を成し遂げました。また、数十年振りにソフトボール教室を開催し、感想を参加者に聞き次年度も開催をしたいと思っております。一月中旬には第3種審判員資格取得講習会が天津中学校で行われました。受講生は少ない中、熱心に講義を聞き、午後の実技では初心者と思われない程大きな声を出していました。

### 秦野市ソフトボール協会

理事長 齋藤 雅裕

1月24日(火) 秦野市立末広小学校6年生(約100名)を対象に、日立サンディーバ(坂本(実)投手、杉浦内野手、藤森外野手、鈴木強化・普及担当)、また1月26日(火)には秦野市立本町小学校5年生(約140名)を対象に、同じく日立サンディーバ(佐藤投手、高瀬外野手、鈴木(未)内野手、鈴木強化・普及担当)の協力を得て、ソフトボールの出前教室を実施しました。授業を受けた生徒は「何歳からソフトボールをはじめたのですか」と選手へ質問を投げかけたり、選手たちのデモンストレーションを見て「すごい飛んだ」など、驚きながらもキラキラ表情を見せるなど笑顔溢れる授業となりました。



(末広小にて)



(本町小にて)

### 寒川町ソフトボール協会

理事長 大木 純一

毎年のことですが、春と秋の支部内大会と県協会

<右上へ>

## 伊勢原市ソフトボール協会

普及委員長 吉原銀兵衛

節分の日(2月3日)、本支部では初めてとなる「学校訪問ソフトボール教室」を大田すこやかスポーツ広場を会場に県普及委員会の主催で開催し、市立大田小学校(北島昌人校長)の6年生約80名が参加しました。当日は北風の吹く寒い中、厚木SCの選手の皆さんにも講師として参加していただき、ゴロやフライの捕り方を教わるとともに、ティーを使ったバッティングに挑戦するなど、子どもたちは初めてのソフトボールを慣れないながらも存分に楽しんでいる様子でした。伊勢原市は元々高校ソフトボールが男女とも盛んな地です。参加した子どもたちの中から将来の県代表、日本代表が生まれることを期待させてくれる一日となりました。

## 海老名市ソフトボール協会

理事長 安齋 正之

時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より当協会の諸活動にご協力いただき心より感謝いたします。

昨年は、天候にも恵まれ計画した事業をいつもより早めに終えることができました。本年も昨年同様、市大会・県央大会・県大会等をコロナ禍ではありますが、環境に柔軟に対応し、今までと同じく計画を推進してまいりますので、引き続きよろしくお願い致します。

## 綾瀬市ソフトボール協会

理事長 岡本 進

令和4年度は4リーグ、計16チームで公式戦を行ってきました。また9月の関東スーパーシニア大会に続き、令和5年6月に全日本総合男子関東地区予選会を開催します。ご支援、ご協力方よろしくお願い致します。なお、40数年あまり、審判員、理事、役員として活躍をしまりました、副会長 帯田康弘氏(享年70歳)は、長い間病気療養中でしたが令和4年12月27日に逝去されました。生前は市内外の皆様にご指導、ご鞭撻を賜り感謝申し上げます。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 大和市ソフトボール協会

理事長 佐藤 通子

とても、短く感じた1年でした。JDリーグの開催や、関東シニア、全日本中学校県予選大会と大きな大会の運営をさせていただきました。準備は滞りなく行ったつもりでも取りこぼしや忘れがあり、ご迷惑をかけました。組織の有難み、偉大さを感じた1年でもありました。チーム数の減少は、各支部ではどうでしょう。大

<右上へ>

<左下より>

和は、5年度の登録は前年度より3チーム減りました。審判員、記録員も数名減っています。これ以上減らしたくありません。現状を維持して、協会運営をしていきたいと思っています。

## 大学連盟

理事長 大塚 隆

大学連盟加盟チームは以下の成績でシーズンを終えました。関東学生リーグ戦:東海大学(男子)I部4位、日本大学生物資源(男子)II部7位、東海大学(女子)I部5位、日本大学生物資源(女子)III部優勝。第53回関東大学選手権:東海大学(男子)3位。県秋季女子オープン:東海大学(女子)準優勝。

令和5年度インカレ予選は本県で開催していただきます。どうかご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

## 中学校体育連盟

委員長 大下内 政樹

今年度、夏の総体は藤沢市と茅ヶ崎市、秋の新人大会は相模原市で開催いたしました。協会の皆様のご尽力により、両大会とも事故なく終えることができました。総体では横浜市立瀬谷中学校が全国大会に出場する活躍を見せてくれました。1月には日立サンデューバを講師に迎え講習会を実施しました。多くの選手・スタッフの方々に手厚いご指導を賜り中学生にとって貴重な経験となりました。

## 少年ソフトボール連盟

会長 法花 義人

神奈川県少年ソフトボール連盟(以下「県少連」)は、年間を通じて多くの大会を実施しています。その際には審判員の派遣やグラウンドの提供等でご協力をいただいていることに感謝申し上げます。

コロナ禍が続いていますが、練習や大会においては、子供達の「心と体の」安全、健康管理に十分配慮して実施しています。近年の少子化等で、チーム数は漸減傾向にありますが、多くの女子選手の入部もあり、各チームの男子選手に負けず劣らずの活躍が見られ、力強く感じています。

最近の全国、関東の対外試合におきましては、県少連チームは、過去に引き続き成績上位という金字塔を重ねていることをご報告申し上げます。今後ともご協力、ご指導をよろしくお願い致します。



”山田選手を囲んで”  
神奈川県関係者

【編集後記】各種大会での神奈川県勢大活躍で華やかな記事に恵まれた2022年度の広報紙であった。改めて皆様のご健闘に祝意を表するとともに、県内での大会実施に携わっていただいたスタッフその他のみなさんに紙上で敬意を表すべく、広報担当として力がこもった。2023年度も華やかな結果報告に花が咲かせられるよう、期待してやまない。(白)